

静岡県の“子育てにやさしい企業” PickUp

静岡県内にある企業で子育てしながら活き活きと働く女性をご紹介。
今、子育て中の方、これから子育て予定の方、必見です。



後藤さんの平均的な1日

5時	起床・朝食・お弁当作り・身支度
7時	登園準備
8時	保育園へ送り・出勤
8時30分	勤務開始
12時	お昼休み(帰宅して夕食の下準備・掃除など)
15時45分	退社
16時	保育園お迎え・帰宅
17時	夕食の準備
18時	夕食
19時	入浴・息子と遊ぶ
20時	息子の寝かしつけ
21時	片付け・洗濯・明日の準備など
24時	就寝

チャレンジできる 職場環境で仕事も充実し、 家族との時間を大切にしています。

りえ 植松グループ 後藤梨江さん

後藤さんプロフィール／短大卒で入社し9年目を迎える。同社で営業や事務も経験し、現在は工場の業務を担当。総合的に活躍し、社の期待も大きい。1歳半の男の子を持つ28歳ママ。

育休の取得や復職することについて不安はありましたか？

後藤さん「社内に先輩女性社員はいるのですが、子育てを終えてから就職された方や、一度結婚と子育てのため退職しその後復職された方がいなくて、私が社内初の産休・育休取得者なんです。社長もお子さんを持つ女性であるので快く受け入れてくださり、社員の皆さんも温かく応援してくださいましたので、育休を取らせていただこうと思いました。ただ、初めてのことなので、手続きなどがよく分からず、総務の方と一緒に色々と制度のことを調べながら手続きし、無事復職することができました。これからは、私の後にも他の女性社員が続いているらしいなと思います。」

仕事と子育ての両立で大変なことはありますか？

後藤さん「復職したばかりの頃は、息子も私も新しい生活環境に慣れるまで1～2ヶ月ほどは大変でしたが、もうだいぶ生活のリズムに慣れました。今は、認可外の保育園に通っており、その保育時間の関係でフルタイムで勤務することができず、短時間勤務にさせていただいています。時間が短い分とにかく効率よく集中して仕事に取り組むよう心がけています。出産前は、営業や事務を経験し、今は工場の業務に携わっています。新しいことにチャレンジする機会をいただき、常に新しい経験と知識を得ていくことで、とても視野が広がり、子育てにも張り合いが出て、充実した毎日を過ごしています。」

ご家族の理解や協力はいかがですか？

後藤さん「主人は、とても協力的で、家事もひと通り手伝ってくれますし、息子と遊んでくれたりします。私自身とても家事が好きなので、時間の使い方を工夫して、子供の食事作りに凝ってみたり、休日はお菓子作りをしてみたり、時間に有意義に使って家事を楽しむことが、ストレス解消というか、仕事への活

力にもなっているかもしれません。」
将来の夢を教えてください。

後藤さん「出産前は、ゴルフやスノーボードをしていました。今はまだ無理ですが、息子が大きくなったら、親子でサッカーなど、家族一緒にアクティブに過ごせたら楽しいですね。」
これから仕事をしたい、復職しようと思っている女性に向けてメッセージをお願いします。

後藤さん「仕事も育児も、なかなか思い通りにはいかないこともあるかもしれません。でも、悲觀せずに、その時できることをめいっぱい頑張ってみる、やり続けてみることで見えてくるものがあるかと思います。目前ではなく長い目で、子育ても自分の仕事を捉えていきたいと思います。」



植松グループ TOPの声



代表取締役
植松三哉子氏

仕事を基盤とし、家庭を大切にする社員の温かい心が「共尊共栄」の良い会社を作ります。

男女参画社会作りで重要なことは、男女それぞれの特性を認めることだと思います。例えば、力仕事は男性、サポートは女性というように特性を生かしてバランスを取ることが大切です。皆同じ「能力」があると思っていますので、その中で女性でも男性と同じ業務で頑張る人、やる気のある人は応援したい。それは既婚・未婚、子供の有無に関わらず、皆平等にチャンスはあるべきです。それが大企業ではないので、社内のコミュニケーションを円滑に取りながら進めていくのがいいのだと思います。社員の家庭の充実が仕事にもつながりますので、家族は大切にして欲しいと思っています。毎年、短大・大学・専門学校生を持つ家庭は、そのお子さんに親と一緒に1日仕事をしていただいています。その年齢で親の仕事を体験す

創業61年。全社員約65名のうち約15名が女性。ボランティア活動など地域社会にも貢献し、社員もお客様も尊敬しあい、信頼しあえる「共尊共栄」の関係でよりよい会社作りを目指す。所在地／沼津市西沢田

静岡県は子どもを生み育てやすい環境づくりの推進のため、子育てと仕事の両立に積極的に取り組む「子育てにやさしい企業」を紹介します。(静岡県健康福祉部子育て支援課)

この企画は今週号で最終回となります。約5ヶ月間、ご愛読、ありがとうございました。